

玉川上水 と 太宰治

玉川上水、その名前は知らなくても、太宰治が入水中心した場所といえれば全国的にも有名では・・・

太宰治は31歳から終戦前後の疎開を除き1939年(昭和14)から自らの命を絶つ1948年(昭和23)までを三鷹で暮らした。

代表作の「津軽」や「斜陽」、「人間失格」など作品の大半は三鷹時代に生まれ、仕事場や作品にその名が登場するなど、玉川上水周辺にゆかりの場所が残っている。

現在は処理水が僅かに流れる玉川上水も、太宰が入水した当時、素堀りの水路は水量多く、流れは急で水面下の岸が掘られ謎の洞穴が随所にあった。これがかかると死体も中々見つからず「人食い川」とも呼ばれた。身投げ者も多く太宰がこの年16番目とされ、太宰の捜索中にも半年前の別の女性の死体が見つかった。前年は33人に及ぶなどいわくつきの流れでもあった。水道局では水死人があるたび水を減らして捜索した。

太宰の遺体も7日後に、約1.4キロ下流の「新橋」付近で発見された。



一九四八年昭和二十三年六月
太宰治は近くの玉川上水を見
その三十九歳の生涯を終えた。

四月ながば、ひるごろの事である。
頭を挙げて見ると、玉川上水は深く
ゆるゆると流れて、兩岸の桜は、も
う葉桜になって真青に茂り合い
青い枝葉が両側から覆いかぶさり、
青菜のトンネルのようである。……

太宰治「乞食学生」より

入水地近くのポケットパークにある 太宰治碑から

「井の頭」の名付親は三代將軍家光

当初井の頭池は池の中に湧き水が7カ所あったので「七井の池」と呼ばれていた。『江戸名所図会』によると、寛永6年(1629)春、三代將軍家光が鷹狩りの折、この地を訪れた際、池の名前を尋ねたので「七井の池」と答えたところ、家光は池の近くの辛夷の樹に小柄で、「井の頭」と彫り付けられた。以後、この池を「井の頭池」と称するようになったという。即ち、泉水の第1等の池という意味である。

迫る神田川の谷を避ける玉川上水

小平監視所付近から武蔵野段丘の多摩川と荒川の分水嶺をほぼ直線に流れる玉川上水は、三鷹駅を過ぎ井の頭公園付近の萬助橋から下流に入ると、しばらくの間水路が複雑に蛇行する。

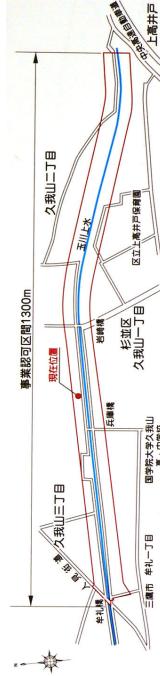
これは玉川上水の左岸にある井の頭池、そこから流れ出る神田川の谷が迫るためである。特に「新橋」を越えると右岸は小高い丘が迫り、左岸は神田川方向へ急傾斜になっている。自然流下の水路は北側の谷を避け、斜面に沿って左右にカーブしながら長兵衛橋まで辿り着く。この区間の水路は深く掘られ、また右岸(南側)に比べて左岸がかなり低くなっている。



右岸(手前)に比べて左岸が低くなっている(松影橋付近)

迫る大型道路・玉川上水をサンドイッチ

牟礼橋から下流は玉川上水沿いに放射5号線の道路工事が開始される。片側17.5m幅の道路に挟まれ、中央部に25m幅の水路が残されるとか・・・。



道路計画のお知らせ板(↑) 当然ながら反対運動が(↓)



玉川上水ワンポイントガイド No. 16

散歩ガイド 三鷹駅から富士見ヶ丘駅



レンガアーチ橋の旧牟礼橋(手前)と牟礼橋 その先は道路に・・・

シリーズ 玉川上水ワンポイントガイド

1. 玉川上水の概要
2. 玉川上水の分水
3. 玉川上水の分水・小平編
4. 玉川上水と小平周辺の新田開発
5. 玉川上水の橋
6. 玉川上水の水車
7. 玉川上水の通船・船溜り
8. 玉川上水の樹木・野草・野鳥
9. 玉川上水と小金井サクラ
10. 玉川上水あれこれ
11. 玉川上水お勧め散歩ガイド
12. 玉川上水散歩ガイド 玉川上水駅から一橋学園駅
13. 玉川上水散歩ガイド 一橋学園駅から三鷹駅

No. テーマ

14	玉川上水散歩ガイド 羽村駅から拝島駅
15	玉川上水散歩ガイド 拝島駅から玉川上水駅
16	玉川上水散歩ガイド 三鷹駅から富士見ヶ丘駅
17	玉川上水散歩ガイド 富士見ヶ丘駅から代田橋駅
18	玉川上水散歩ガイド 代田橋駅から新宿御苑駅
19	小平市内の用水分岐水門・分岐口めぐり
20	小平市内の石橋供養塔めぐり
発行 2009年4月 No1~No13発行済	

発行 小平・玉川上水再々発見の会
E-mail tamagawasaisai@yahoo.co.jp
代表 庄司徳治